

# しんきん景況レポート(第60回)

— 山口県内中小企業の動向(令和元年10~12月期) —

【特別調査: 2020年の経済見通し】

《景況天気図》 「小雨」が続く

業況判断 D. I.	H31/ 1~3月	R1/ 4~6月	7~9月	10~12月	R2/1~3月 (予想)
山口県	Δ16.7	Δ18.6	Δ24.1	Δ17.2	Δ18.1
西部地域 下関、宇部・山陽小野田	Δ7.9	Δ19.7	Δ21.3	Δ25.0	Δ26.3
中部地域 山口、防府	Δ24.4	Δ17.1	Δ36.6	Δ22.0	Δ17.1
北部地域 萩・長門	Δ34.8	Δ34.8	Δ43.5	Δ17.4	Δ4.3
東部地域 周南、柳井、岩国	Δ15.6	Δ12.5	Δ12.5	Δ4.7	Δ14.1
景況天気図の D. I. の目安	Δ30.0 未満 	Δ30.0~ Δ10.0未満 	Δ10.0~ +10.0未満 	+10.0~ +30.0未満 	+30.0 以上 

[概況]

山口県内中小企業の令和元年10~12月期(今期)の業況判断D. I. は、7~9月期(前期)のΔ24.1から6.9ポイント改善し、Δ17.2となった。

企業経営者からみた県内景気は、秋の観光シーズンに入ったが、台風や国際情勢の影響による観光客の減少に加え、消費税増税による消費マインドの低下などから、改善は小幅にとどまり、10~12月期調査としては昨年に続いて低い水準となった。

令和2年1~3月期(来期)については、観光関連を中心にΔ18.1とやや悪化する見込みとなっている。

業種別では、非製造業は11.6ポイント改善したが、製造業は8.6ポイントの悪化となった。

製造業 前期: Δ19.1 → 今期: Δ27.7

非製造業 前期: Δ25.6 → 今期: Δ14.0

今期の状態を景況天気図に置き換えると、消費税増税による大きな落ち込みはないものの、改善要因もなく「小雨」が続いている。

・このレポートは、山口県内の3信用金庫(萩山口、東山口、西中国)が、中小企業を対象に行った景気の現状と見通しに関する調査結果を取りまとめたものです。

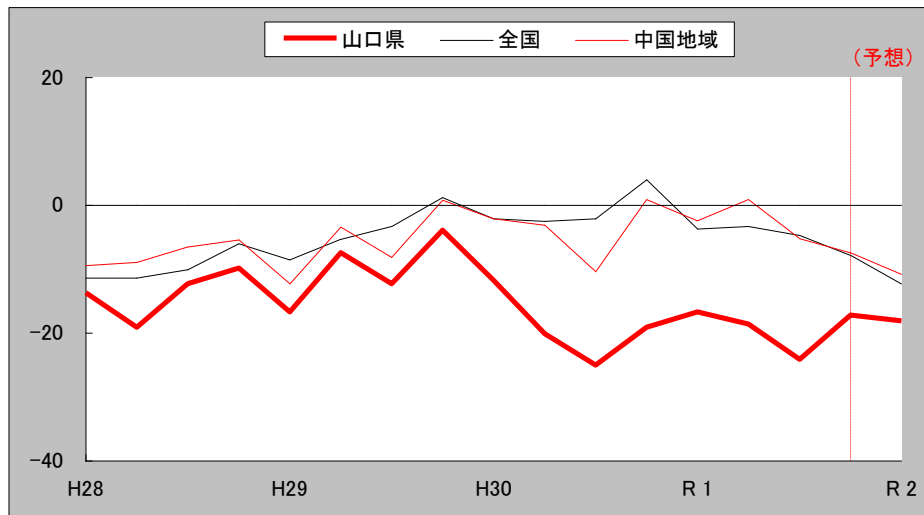
(調査実施対象企業は204社<うち製造業47社、非製造業157社>)

・D. I. は、Diffusion Indexの略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値。

・照会先: 西中国信用金庫調査室 〒750-0016 下関市細江町一丁目1番8号 TEL. 083-223-3632 株式会社 <http://www.nishichugoku.co.jp/>

# 1. 業況判断 D. I.

## (1) 山口県全域 (全業種)



山口県				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

全国				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

中国地域				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

H28	-13.7	-19.1	-12.3	-9.8	-11.4	-11.4	-10.1	-6.0	-9.4	-8.9	-6.5	-5.4
H29	-16.7	-7.4	-12.3	-3.9	-8.5	-5.3	-3.3	1.2	-12.3	-3.4	-8.1	0.8
H30	-11.8	-20.1	-25.0	-19.1	-2.1	-2.5	-2.1	4.0	-2.1	-3.1	-10.4	0.9
R1	-16.7	-18.6	-24.1	-17.2	-3.7	-3.3	-4.7	-7.8	-2.4	0.9	-5.2	-7.4
R2	-18.1				-12.3				-10.8			
	(予想)				(予想)				(予想)			

- 山口県内中小企業の業況判断 D. I. (全業種) は、今期は $\Delta 17.2$ と、前期の $\Delta 24.1$ から 6.9 ポイント改善したが、来期は再び $\Delta 18.1$ と、やや悪化することが予想されている。
- 業種別にみると、非製造業は、不動産を除く多くの業種で改善し、全体で 11.6 ポイントの改善となったが、製造業は、一般機械や鉄鋼を中心に 8.6 ポイントの悪化となった。
- 来期は、製造業は改善、非製造業は悪化が見込まれている。

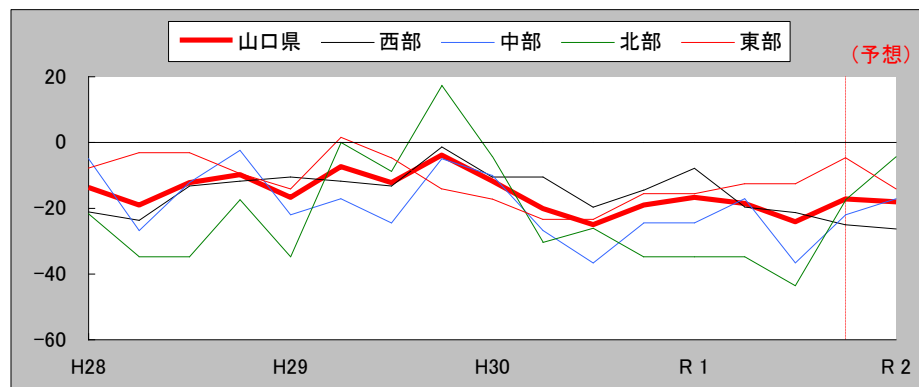
	H31/ 1~3月	R1/ 4~6月	7~9月	10~12月	R2/1~3月 (予想)
製造業	$\Delta 19.1$	$\Delta 23.4$	$\Delta 19.1$	$\Delta 27.7$	$\Delta 23.4$
非製造業	$\Delta 15.9$	$\Delta 17.2$	$\Delta 25.6$	$\Delta 14.0$	$\Delta 16.6$
建設業	$\Delta 2.2$	4.4	0.0	8.9	6.7
卸売業	$\Delta 45.8$	$\Delta 20.8$	$\Delta 39.1$	$\Delta 25.0$	$\Delta 20.8$
小売業	$\Delta 20.0$	$\Delta 40.0$	$\Delta 41.7$	$\Delta 25.7$	$\Delta 28.6$
サービス業	$\Delta 25.6$	$\Delta 42.1$	$\Delta 39.5$	$\Delta 26.3$	$\Delta 31.6$
不動産業	28.6	40.0	$\Delta 6.7$	$\Delta 6.7$	$\Delta 13.3$

販売価格判断 D. I. 前期： $\Delta 2.5$  → 今期： $+ 4.9$

仕入価格判断 D. I. 前期： $+25.2$  → 今期： $+22.2$

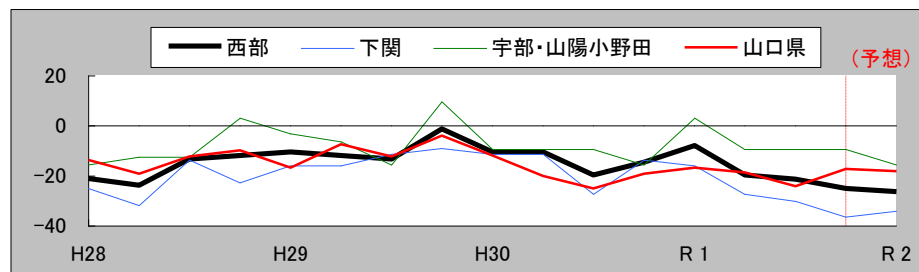
【 差  $\Delta 27.7$  →  $\Delta 17.3$  】

## (2) 地域別（全業種）



## (3) 地域別にみた特徴点（全業種）

### ①西部地域（下関市、宇部市、山陽小野田市とその周辺地域）



西部				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-21.1	-23.7	-13.2	-11.8
H29	-10.5	-11.8	-13.2	-1.3
H30	-10.5	-10.5	-19.7	-14.5
R 1	-7.9	-19.7	-21.3	-25.0
R 2	-26.3			
	(予想)			

下関				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-25.0	-31.8	-13.6	-22.7
H29	-15.9	-15.9	-11.4	-9.1
H30	-11.4	-11.4	-27.3	-13.6
R 1	-15.9	-27.3	-30.2	-36.4
R 2	-34.1			
	(予想)			

宇部・山陽小野田				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-15.6	-12.5	-12.5	-18.8
H29	-3.1	-6.3	-15.6	3.1
H30	-9.4	-9.4	-9.4	9.7
R 1	3.1	-9.4	-9.4	-9.4
R 2	-15.6			
	(予想)			

- ・ 今期の業況判断 D.I. を地域別にみると、東部、中部、北部地域は改善したが西部地域は悪化となった。

来期は、中部、北部地域で改善、西部、東部地域で悪化が見込まれている。

	H31/ 1～3月	R1/ 4～6月	7～9月	10～12月	R2/1～3月 (予想)
山口県	△ 16.7	△ 18.6	△ 24.1	△ 17.2	△ 18.1
西部地域	△ 7.9	△ 19.7	△ 21.3	△ 25.0	△ 26.3
中部地域	△ 24.4	△ 17.1	△ 36.6	△ 22.0	△ 17.1
北部地域	△ 34.8	△ 34.8	△ 43.5	△ 17.4	△ 4.3
東部地域	△ 15.6	△ 12.5	△ 12.5	△ 4.7	△ 14.1

- ・ 西部地域の業況判断 D.I. は、今期は△25.0 と、前期の△21.3 から 3.7 ポイントの悪化となり、来期はさらに△26.3 まで悪化することが見込まれている。

業種別にみると、非製造業は卸売業、サービス業を中心に改善したが、製造業が一般機械、鉄鋼を中心に悪化した。来期は、製造業で改善、非製造業で悪化が見込まれている。

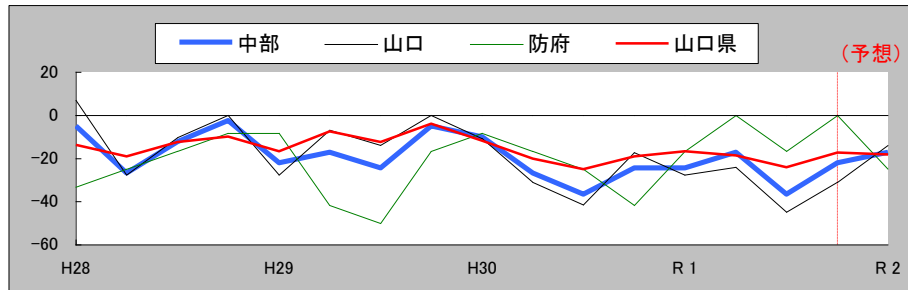
製造業 前期：△18.2 → 今期：△45.5 → 来期：△36.4

非製造業 前期：△22.6 → 今期：△16.7 → 来期：△22.2

- ・ 地域別にみると、下関地域は、非製造業が卸売業、サービス業を中心に改善したが、製造業は一般機械、鉄鋼を中心に悪化した。

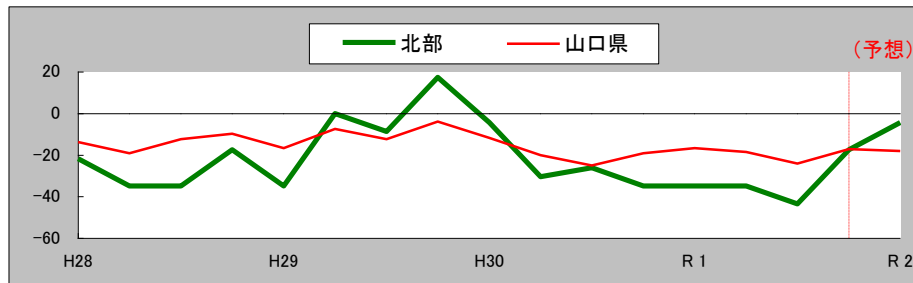
宇部・山陽小野田地域は、非製造業が卸売業、小売業、サービス業を中心に改善したが、製造業が一般機械を中心に悪化し、全体では横這いとなった。

## ②中部地域（山口市、防府市およびその周辺地域）



	中部				山口				防府			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
H28	-4.9	-26.8	-12.2	-2.4	6.9	-27.6	-10.3	0.0	-33.3	-25.0	-16.7	-8.3
H29	-22.0	-17.1	-24.4	-4.9	-27.6	-6.9	-13.8	0.0	-8.3	-41.7	-50.0	-16.7
H30	-10.0	-26.8	-36.6	-24.4	-10.7	-31.0	-41.4	-17.2	-8.3	-16.7	-25.0	-41.7
R 1	-24.4	-17.1	-36.6	-22.0	-27.6	-24.1	-44.8	-31.0	-16.7	0.0	-16.7	0.0
R 2	-17.1				-13.8				-25.0			
	(予想)				(予想)				(予想)			

## ③北部地域（萩市、長門市およびその周辺地域）



	北部			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
H28	-21.7	-34.8	-34.8	-17.4
H29	-34.8	0.0	-8.7	17.4
H30	-4.3	-30.4	-26.1	-34.8
R 1	-34.8	-34.8	-43.5	-17.4
R 2	-4.3			
	(予想)			

- 中部地域の業況判断D.I.は、今期は $\Delta 22.0$ と、前期の $\Delta 36.6$ から14.6ポイントの改善となり、来期はさらに $\Delta 17.1$ まで改善することが見込まれている。

業種別にみると、製造業は横這いとなったが、非製造業が建設業、不動産業など多くの業種で改善した。

来期は、製造業で悪化、非製造業で改善が見込まれている。

製造業 前期： $\Delta 25.0$  → 今期： $\Delta 25.0$  → 来期： $\Delta 41.7$

非製造業 前期： $\Delta 41.4$  → 今期： $\Delta 20.7$  → 来期： $\Delta 6.9$

- 地域別にみると、山口地域は、製造業は食品、窯業・土石を中心に悪化したが、非製造業が建設業、不動産業を中心に改善した。

防府地域は、製造業が窯業・土石を中心に改善し、非製造業も卸売業を中心に改善した。

- 北部地域の業況判断D.I.をみると、今期は $\Delta 17.4$ と、前期の $\Delta 43.5$ から26.1ポイントの大幅な改善となり、来期はさらに $\Delta 4.3$ まで改善することが見込まれている。

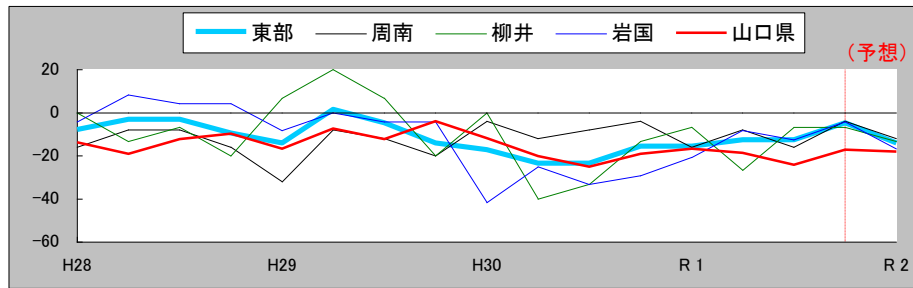
業種別にみると、製造業が水産加工を中心に改善し、非製造業も不動産業を除く多くの業種で改善した。

来期は、製造業、非製造業とも改善が見込まれている。

製造業 前期： $\Delta 33.3$  → 今期： $\Delta 16.7$  → 来期： $+16.7$

非製造業 前期： $\Delta 47.1$  → 今期： $\Delta 17.6$  → 来期： $\Delta 11.8$

④東部地域（周南市、柳井市、岩国市およびその周辺地域）



東部				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-7.8	-3.1	-3.1	-9.4
H29	-14.1	1.6	-4.7	-14.1
H30	-17.2	-23.4	-23.4	-15.6
R1	-15.6	-12.5	-12.5	-4.7
R2	-14.1			

(予想)

周南				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-16.0	-8.0	-8.0	-16.0
H29	-32.0	-8.0	-12.0	-20.0
H30	-4.0	-12.0	-8.0	-4.0
R1	-16.0	-8.0	-16.0	-4.0
R2	-12.0			

(予想)

柳井				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	0.0	-13.3	-6.7	-20.0
H29	6.7	20.0	6.7	-20.0
H30	0.0	-40.0	-33.3	-13.3
R1	-6.7	-26.7	-6.7	-6.7
R2	-13.3			

(予想)

岩国				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-4.2	8.3	4.2	4.2
H29	-8.3	0.0	-4.2	-4.2
H30	-41.7	-25.0	-33.3	-29.2
R1	-20.8	-8.3	-12.5	-4.2
R2	-16.7			

(予想)

- 東部地域の業況判断 D.I. は、今期は $\Delta 4.7$  と、前期の $\Delta 12.5$  から 7.8 ポイントの改善となったが、来期は $\Delta 14.1$  まで悪化することが見込まれている。

業種別にみると、製造業が一般機械を中心に改善し、非製造業も、建設業、小売業を中心に改善した。

来期は、製造業は横這い、非製造業は悪化が見込まれている。

製造業 前期： $\pm 0.0$  → 今期： $+14.3$  → 来期： $+14.3$

非製造業 前期： $\Delta 14.0$  → 今期： $\Delta 7.0$  → 来期： $\Delta 17.5$

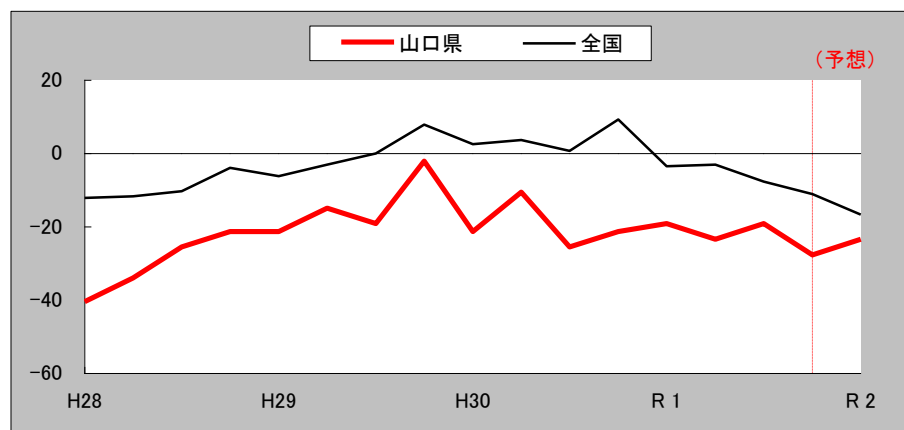
- 地域別にみると、周南地域は、製造業が一般機械を中心に改善し、非製造業も建設業、不動産業を中心に改善した。

柳井地域は、製造業、非製造業ともに横這いとなった。

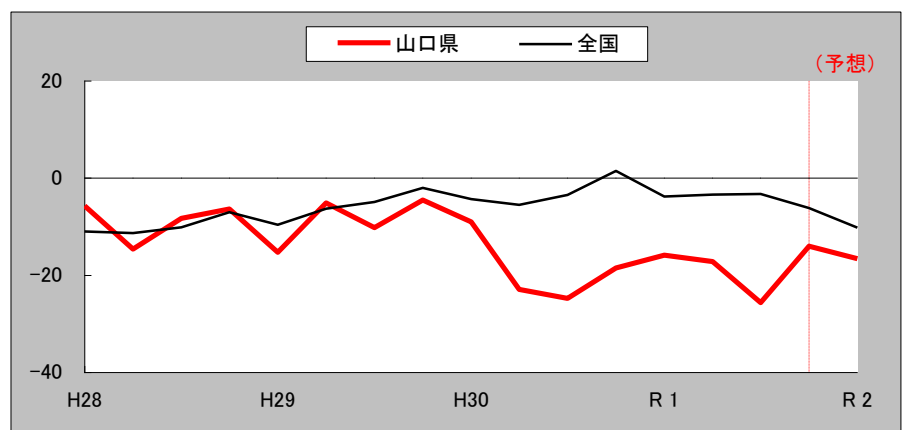
岩国地域は、製造業は横這いとなったが、非製造業が小売業を中心に改善した。

(4) 業種別の業況判断 D. I.

① 製造業



② 非製造業



- 業況判断 D. I. を業種別にみると、製造業は、水産加工や化学は改善したが、一般機械や鉄鋼の悪化が大きく、 $\Delta 27.7$  と、前期の  $\Delta 19.1$  から 8.6 ポイントの悪化となった。

来期は  $\Delta 23.4$  まで改善することが見込まれている。

販売価格判断 D. I.      前期： $\Delta 8.5$  → 今期： $\pm 0.0$

原材料価格判断 D. I.    前期： $+36.2$  → 今期： $+38.3$

【差  $\Delta 44.7$  →  $\Delta 38.3$ 】

受注残 D. I.              前期： $\Delta 25.5$  → 今期： $\Delta 17.0$

- 非製造業の業況判断 D. I. は、不動産業を除く多くの業種で改善し、 $\Delta 14.0$  と、前期の  $\Delta 25.6$  から 11.6 ポイントの改善となった。

来期は  $\Delta 16.6$  まで悪化することが見込まれている。

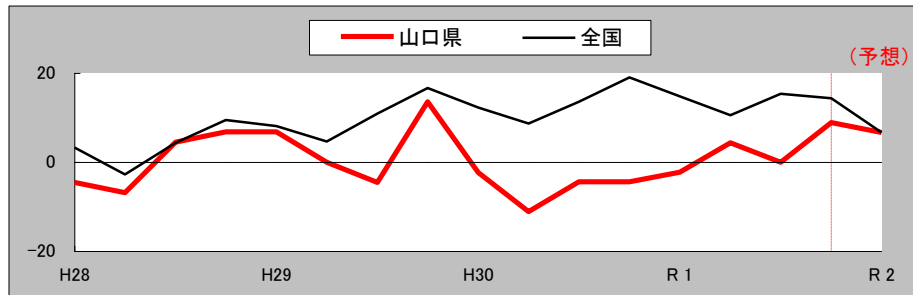
販売価格判断 D. I.      前期： $\Delta 0.6$  → 今期： $+6.4$

仕入れ・材料価格判断 D. I.    前期： $+21.9$  → 今期： $+17.3$

【差  $\Delta 22.5$  →  $\Delta 10.9$ 】

	H31/ 1~3月	R1/ 4~6月	7~9月	10~12月	R2/1~3月 (予想)
製造業	$\Delta 19.1$	$\Delta 23.4$	$\Delta 19.1$	$\Delta 27.7$	$\Delta 23.4$
非製造業	$\Delta 15.9$	$\Delta 17.2$	$\Delta 25.6$	$\Delta 14.0$	$\Delta 16.6$
建設業	$\Delta 2.2$	4.4	0.0	8.9	6.7
卸売業	$\Delta 45.8$	$\Delta 20.8$	$\Delta 39.1$	$\Delta 25.0$	$\Delta 20.8$
小売業	$\Delta 20.0$	$\Delta 40.0$	$\Delta 41.7$	$\Delta 25.7$	$\Delta 28.6$
サービス業	$\Delta 25.6$	$\Delta 42.1$	$\Delta 39.5$	$\Delta 26.3$	$\Delta 31.6$
不動産業	28.6	40.0	$\Delta 6.7$	$\Delta 6.7$	$\Delta 13.3$

②-i. 建設業



- 建設業の業況判断 D. I. は、公共工事の増加を主因に、前期の±0.0 から 8.9 ポイント改善して+8.9 となった。

来期も+6.7 と、改善超を維持することが見込まれている。

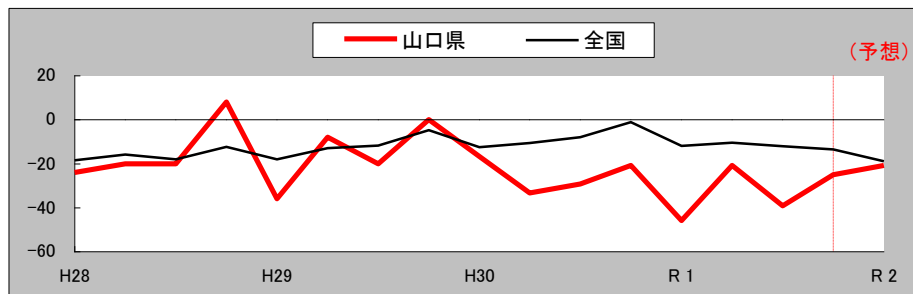
請負価格判断 D. I. 前期：△ 6.8 → 今期：+ 4.4

材料価格判断 D. I. 前期：+15.9 → 今期：+17.8

【差 △22.7 → △13.4】

受注残 D. I. 前期：△ 6.8 → 今期：+22.2

②-ii. 卸売業



- 卸売業の業況判断 D. I. は、前期の△39.1 から 14.1 ポイント改善して△25.0 となった。

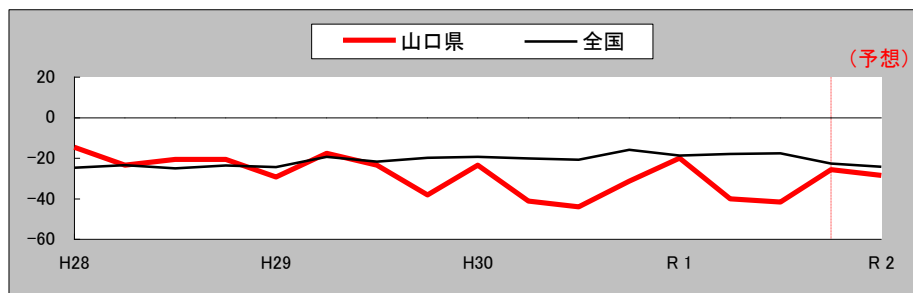
来期はさらに△20.8 まで改善する見込みとなっている。

販売価格判断 D. I. 前期：+17.4 → 今期：+ 8.3

仕入価格判断 D. I. 前期：+21.7 → 今期：+ 4.2

【差 △ 4.3 → + 4.1】

②-iii. 小売業



- 小売業の業況判断 D. I. は、前期の△41.7 から 16.0 ポイント改善して△25.7 となった。

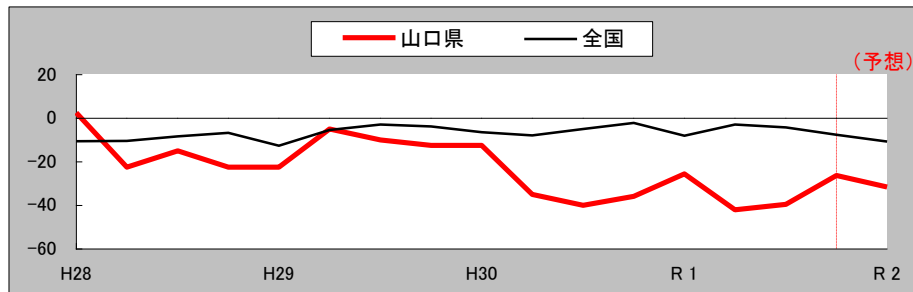
来期は△28.6 まで悪化することが見込まれている。

販売価格判断 D. I. 前期：+ 5.6 → 今期：+11.4

仕入価格判断 D. I. 前期：+19.4 → 今期：+14.3

【差 △13.8 → △ 2.9】

②-iv. サービス業



- ・ サービス業の業況判断D.I.は、前期の $\Delta 39.5$ から13.2ポイント改善して $\Delta 26.3$ となった。

観光関連では、韓国からの観光客が激減しており、台風の影響で関東からの観光客も減少している。

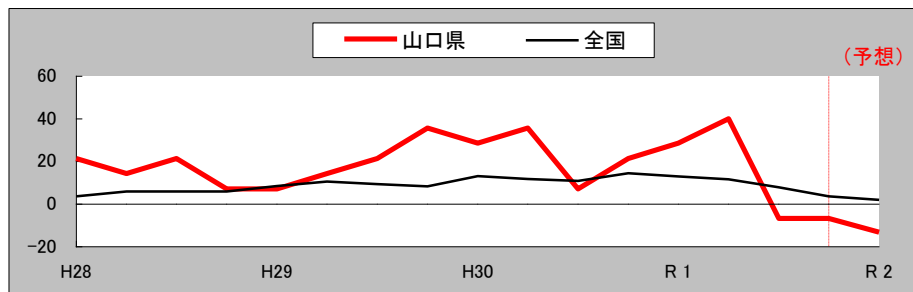
来期は、観光客が減少する時期となることから、 $\Delta 31.6$ まで悪化することが見込まれている。

料金価格判断D.I. 前期： $\Delta 2.6$  → 今期： $+ 2.6$

材料価格判断D.I. 前期： $+27.0$  → 今期： $+27.0$

【差  $\Delta 29.6$  →  $\Delta 24.4$ 】

②-v. 不動産業



- ・ 不動産業の業況判断D.I.は、前期から横ばいの $\Delta 6.7$ となった。消費税増税の影響緩和策もあって、物件の動きが鈍い状況が続いている。

来期は $\Delta 13.3$ まで悪化することが見込まれている。

販売価格D.I. 前期： $\Delta 20.0$  → 今期： $+ 6.7$

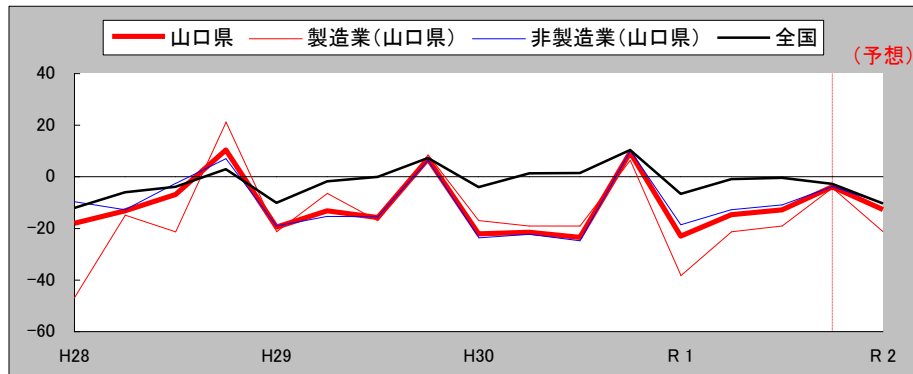
仕入価格D.I. 前期： $+33.3$  → 今期： $+20.0$

【差  $\Delta 53.3$  →  $\Delta 13.3$ 】

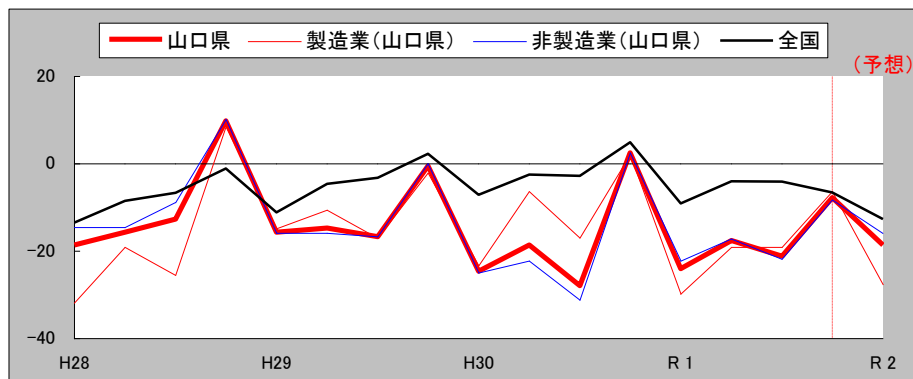


## 2. 項目別の動向

### (1) 売上額 D. I. (全業種)



### (2) 収益 D. I. (全業種)



- 売上額 D. I. は、前期の△12.8 から 8.9 ポイント改善して△ 3.9 となった。

来期は△12.7 まで悪化することが見込まれている。

製造業 +14.8 (前期：△19.1 → 今期：△ 4.3)

非製造業 + 7.1 (前期：△10.9 → 今期：△ 3.8)

(非製造業の内訳：前期と今期の差)

建設業：△ 4.5、卸売業：+ 4.7、小売業：+13.5、

サービス業：+10.5、不動産業：+20.0

- 収益 D. I. は、前期の△21.2 から 13.4 ポイント改善して△7.8 となった。

来期は△18.6 まで悪化することが見込まれている。

製造業 +12.7 (前期：△19.1 → 今期：△ 6.4)

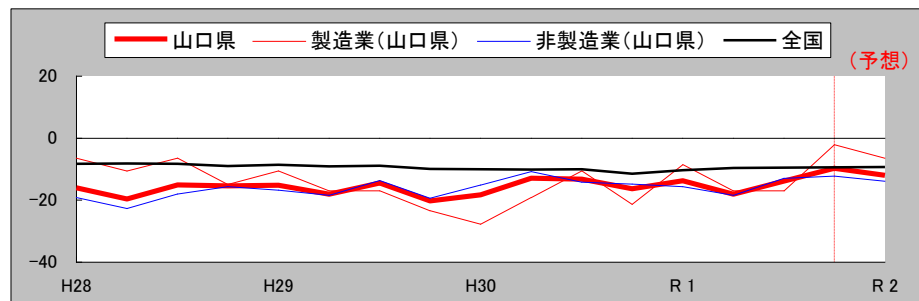
非製造業 +13.5 (前期：△21.8 → 今期：△ 8.3)

(非製造業の内訳：前期と今期の差)

建設業：+ 2.4、卸売業：+17.9、小売業：+27.5、

サービス業：+13.1、不動産業：+ 6.7

### (3) 設備判断 D. I. (全業種)



- 設備に関する判断 D. I. をみると、前期の $\Delta 13.9$  から不足感が弱まって $\Delta 9.7$  となっているが、来期は $\Delta 12.0$  と、やや強まる見込みとなっている。

製造業 +14.9 (前期:  $\Delta 17.0$  → 今期:  $\Delta 2.1$ )

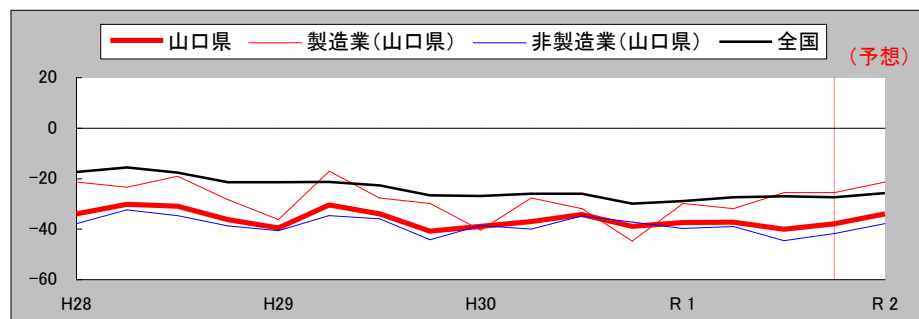
非製造業 + 0.7 (前期:  $\Delta 12.9$  → 今期:  $\Delta 12.2$ )

#### 設備投資実施企業の割合

山口県 前期: 27.1% → 今期: 26.5% → 来期: 23.5%

全国 前期: 22.9% → 今期: 22.6% → 来期: 19.7%

### (4) 雇用判断 D. I. (全業種)

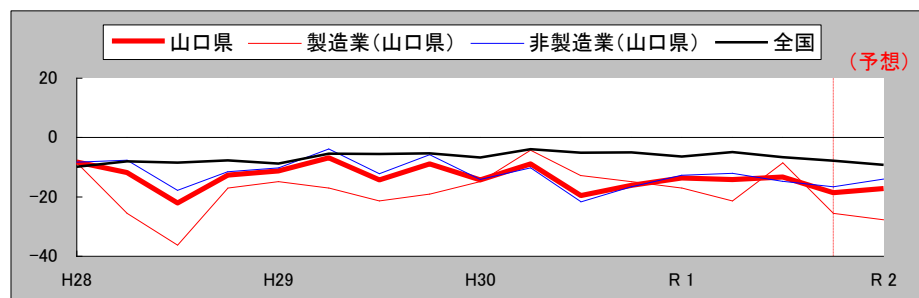


- 雇用判断 D. I. をみると、今期は $\Delta 37.9$  と、前期の $\Delta 40.1$  から従業員の不足感は弱まっており、来期はさらに $\Delta 34.0$  まで弱まる見込みとなっている。

製造業  $\pm 0.0$  (前期:  $\Delta 25.5$  → 今期:  $\Delta 25.5$ )

非製造業 + 2.8 (前期:  $\Delta 44.5$  → 今期:  $\Delta 41.7$ )

### (5) 資金繰り判断 D. I. (全業種)



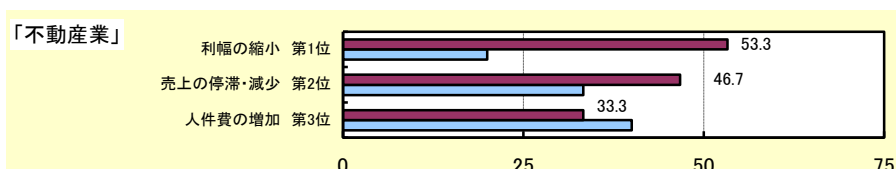
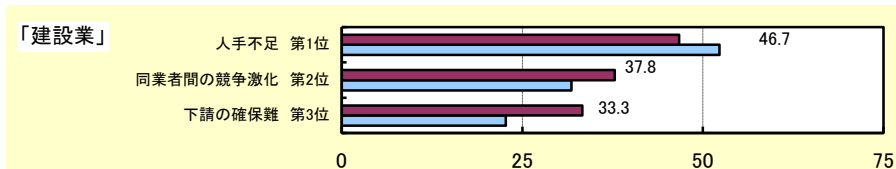
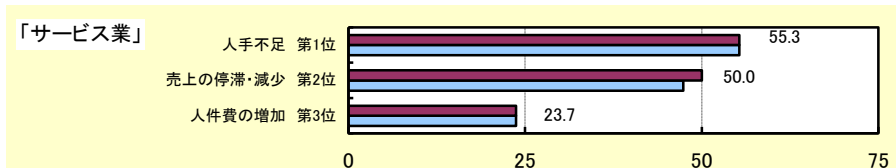
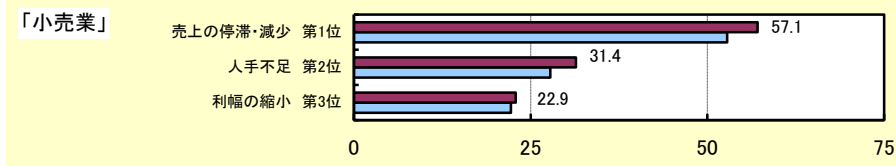
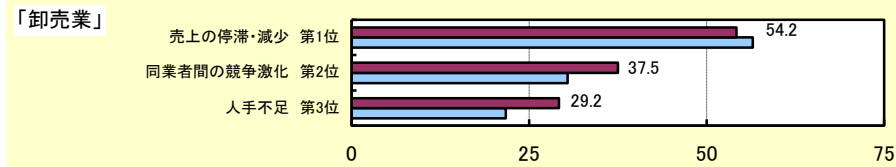
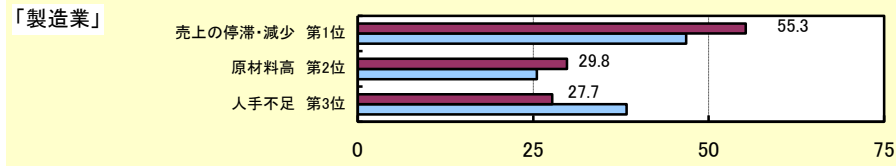
- 資金繰り判断 D. I. をみると、今期は $\Delta 18.6$  と、前期の $\Delta 13.3$  から悪化しているが、来期は $\Delta 17.2$  まで改善することが見込まれている。

製造業  $\Delta 17.0$  (前期:  $\Delta 8.5$  → 今期:  $\Delta 25.5$ )

非製造業  $\Delta 1.9$  (前期:  $\Delta 14.7$  → 今期:  $\Delta 16.6$ )

### 3. 経営上の問題点（複数回答）

■ 10-12 月期 ■ 7-9 月期（単位：％）

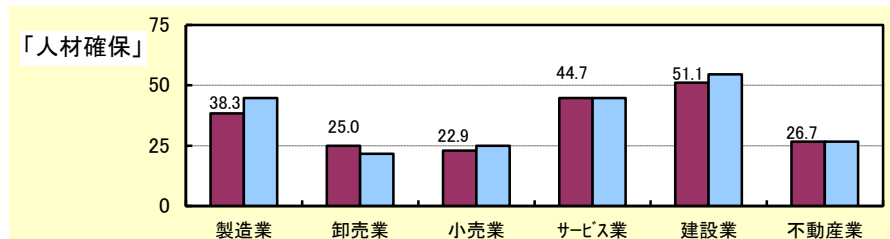
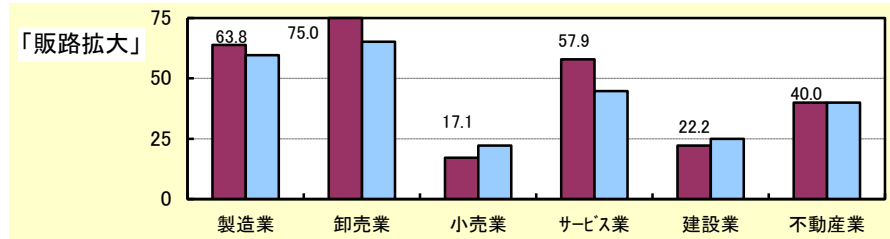


- 経営上の問題点をみると、製造業、卸売業、小売業で「売上の停滞・減少」、サービス業、建設業で「人手不足」、不動産業で「利幅の縮小」が第1位となっている。

消費税増税後、「売上の停滞・減少」を挙げる企業の割合が増加している。

### 4. 当面の重点経営施策（複数回答）

■ 10-12 月期 ■ 7-9 月期（単位：％）



- 上記、経営上の問題点を踏まえた当面の重点経営施策は、製造業、卸売業、サービス業で「販路拡大」、建設業で「人材確保」、小売業で「経費節減」、不動産業で「情報力の強化」が第1位となっている。

### 主要経済指標

年度/月	鉱工業指数 (平成27年=100、季節調整値)										通関実績									
	生産				出荷				在庫				輸出			輸入				
	山口県	前月比 (%)	全国	前月比 (%)	山口県	前月比 (%)	全国	前月比 (%)	山口県	前月比 (%)	全国	前月比 (%)	山口県	前年比 (%)	全国	前年比 (%)	山口県	前年比 (%)	全国	前年比 (%)
(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(百万円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)
2016 (H28)	98.0	-	100.0	-	96.2	-	99.7	-	100.4	-	99.1	-	1,694,881	△ 10.6	70,035,770	△ 7.4	934,857	△ 25.3	66,041,974	△ 15.8
2017 (H29)	102.0	-	103.1	-	101.3	-	102.2	-	100.0	-	99.4	-	2,077,032	22.5	78,286,457	11.8	1,169,891	25.1	75,379,231	14.1
2018 (H30)	105.3	-	104.2	-	102.3	-	103.0	-	106.5	-	102.0	-	2,056,063	△ 1.0	81,478,753	4.1	1,409,079	20.4	82,703,304	9.7
2018.10	108.4	2.5	105.6	2.0	105.7	7.4	104.4	2.3	105.0	△ 4.5	101.5	△ 0.5	178,537	4.6	7,243,463	8.2	132,357	29.1	7,699,727	20.0
2018.11	105.9	△ 2.3	104.6	△ 0.9	105.3	△ 0.4	102.8	△ 1.5	105.0	0.0	101.6	0.1	172,123	△ 1.6	6,927,097	0.1	137,780	33.6	7,666,200	12.5
2018.12	106.6	0.7	104.7	0.1	105.1	△ 0.2	103.1	0.3	106.1	1.0	102.9	1.3	175,563	△ 6.7	7,021,794	△ 3.9	114,810	3.1	7,077,529	1.9
2019. 1	108.3	1.6	102.1	△ 2.5	105.6	0.5	100.6	△ 2.4	109.0	2.7	102.0	△ 0.9	162,265	△ 10.2	5,574,679	△ 8.4	104,295	△ 11.4	6,992,397	△ 0.8
2019. 2	111.8	3.2	102.8	0.7	110.7	4.8	102.2	1.6	106.3	△ 2.5	102.4	0.4	164,824	9.1	6,384,918	△ 1.2	108,140	0.3	6,053,359	△ 6.5
2019. 3	106.5	△ 4.7	102.2	△ 0.6	103.3	△ 6.7	100.9	△ 1.3	108.2	1.8	103.8	1.4	173,801	△ 10.3	7,202,046	△ 2.4	103,149	△ 5.6	6,679,349	1.2
2019. 4	110.9	4.1	102.8	0.6	104.5	1.2	102.7	1.8	106.2	△ 1.8	103.8	0.0	169,784	△ 3.3	6,658,937	△ 2.4	107,259	△ 2.0	6,605,426	6.5
2019. 5	108.6	△ 2.1	104.9	2.0	106.1	1.5	104.0	1.3	106.2	0.0	104.3	0.5	147,380	△ 15.1	5,835,339	△ 7.8	94,650	△ 19.1	6,805,519	△ 1.4
2019. 6	111.9	3.0	101.4	△ 3.3	106.4	0.3	99.8	△ 4.0	106.7	0.5	104.7	0.4	150,544	△ 18.6	6,585,788	△ 6.6	104,597	△ 4.9	5,998,282	△ 5.2
2019. 7	r 106.1	r △ 5.2	102.7	1.3	r 103.0	r △ 3.2	102.5	2.7	r 103.3	r △ 3.2	104.5	△ 0.2	158,870	1.2	6,643,359	△ 1.5	106,727	△ 9.0	6,895,681	△ 1.1
2019. 8	108.8	2.5	101.5	△ 1.2	99.4	△ 3.5	r 101.2	r △ 1.3	107.8	4.4	r 104.4	r △ 0.1	144,029	△ 7.1	6,141,243	△ 8.2	r 95,614	△ 24.1	r 6,286,946	△ 11.9
2019. 9	113.9	4.7	103.2	1.7	107.7	8.4	102.7	1.5	106.2	△ 1.5	102.9	△ 1.4	140,832	△ 11.0	6,368,318	△ 5.2	97,899	△ 10.9	6,496,598	△ 1.5
2019.10	P 110.9	△ 2.6	98.6	△ 4.5	P 105.8	△ 1.8	98.1	△ 4.5	P 102.0	△ 4.0	104.2	1.3	131,852	△ 26.1	6,577,064	△ 9.2	106,807	△ 19.3	6,564,221	△ 14.7
2019.11			P 97.7	△ 0.9			P 96.4	△ 1.7			P 103.1	△ 1.1	128,918	△ 25.1	6,379,013	△ 7.9	P 96,081	△ 30.3	P 6,464,245	△ 15.7
2019.12																				
出所	山口県 経済産業省				山口県 経済産業省				山口県 経済産業省				財務省・神戸税関							

年度/月	公共工事 (公共機関からの1件500万円以上の受注工事)				新設住宅着工戸数				着工建築物床面積								人口 (各月1日現在人口、年度は10月1日現在)			
	山口県		全国		山口県		全国		居住用				非居住用				山口県		全国	
	(百万円)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)	(戸)	前年比 (%)	(戸)	前年比 (%)	(㎡)	前年比 (%)	(㎡)	前年比 (%)	(㎡)	前年比 (%)	(㎡)	前年比 (%)	(人)	前年比 (%)	(千人)	前年比 (%)
2016 (H28)	218,344	△ 23.6	15,609,636	2.7	8,311	8.1	974,137	5.8	768,642	11.1	82,853,013	4.3	500,872	△ 9.9	51,333,788	2.7	1,393,904	△ 0.77	126,933	△ 0.13
2017 (H29)	177,412	△ 18.7	15,327,564	△ 1.8	7,878	△ 5.2	946,396	△ 2.8	713,024	△ 7.2	79,716,687	△ 3.8	592,549	18.3	53,312,669	3.9	1,381,584	△ 0.88	126,706	△ 0.18
2018 (H30)	183,733	3.6	14,830,195	△ 3.2	8,358	6.1	952,936	0.7	756,703	6.1	80,063,381	0.4	556,607	△ 6.1	51,016,027	△ 4.3	1,368,495	△ 0.95	126,443	△ 0.21
2018.10	30,598	10.4	1,306,639	△ 8.0	782	3.3	83,330	0.3	69,605	5.8	7,002,470	2.3	43,542	△ 25.0	4,601,585	△ 3.2	1,368,495	△ 0.95	126,443	△ 0.21
2018.11	22,471	125.4	1,023,791	△ 2.2	912	78.1	84,213	△ 0.6	79,543	71.9	7,043,083	△ 1.2	79,792	407.7	4,151,181	△ 7.0	1,367,940	△ 0.94	126,453	△ 0.21
2018.12	21,324	17.0	1,073,715	△ 18.3	801	△ 1.8	78,364	2.1	69,361	0.5	6,584,592	2.5	23,956	△ 52.3	4,293,384	15.3	1,367,060	△ 0.94	126,435	△ 0.21
2019. 1	11,960	6.2	1,084,298	32.8	611	6.4	67,087	1.1	61,047	15.9	5,746,726	3.8	72,201	155.5	3,970,231	1.0	1,365,926	△ 0.95	126,317	△ 0.22
2019. 2	19,259	118.1	1,029,119	△ 9.1	725	5.7	71,966	4.2	64,863	6.7	6,089,377	6.4	27,529	△ 46.9	3,699,616	△ 15.1	1,364,778	△ 0.93	126,310	△ 0.24
2019. 3	14,708	△ 47.8	2,322,839	12.8	681	△ 11.3	76,558	10.0	63,421	△ 7.0	6,632,566	13.2	38,122	△ 17.7	3,333,906	△ 19.3	1,363,428	△ 0.93	126,248	△ 0.19
2019. 4	8,190	27.6	892,114	6.4	540	6.9	79,389	△ 5.7	52,623	16.2	6,782,771	△ 4.6	47,565	46.7	4,439,674	△ 4.0	1,358,607	△ 0.91	126,254	△ 0.20
2019. 5	8,116	36.5	930,331	4.3	390	△ 17.7	72,581	△ 8.7	36,221	△ 22.4	6,382,202	△ 5.0	23,440	28.5	4,170,245	△ 0.5	1,360,644	△ 0.90	r 126,181	△ 0.23
2019. 6	11,607	12.0	1,545,193	23.0	587	△ 23.6	81,541	0.3	54,972	△ 18.8	7,170,942	5.7	46,070	△ 56.3	4,640,761	1.7	1,359,804	△ 0.91	r 126,252	r △ 0.20
2019. 7	14,346	△ 8.8	1,525,734	26.1	558	△ 27.2	79,232	△ 4.1	54,123	△ 19.9	6,994,771	1.2	37,269	△ 12.1	4,979,575	0.4	1,358,830	△ 0.92	r 126,265	r △ 0.21
2019. 8	15,699	41.5	1,325,492	4.2	893	23.5	76,034	△ 7.1	80,838	19.9	7,179,951	7.1	43,793	△ 2.3	3,987,495	△ 5.1	1,356,978	△ 0.93	P 126,230	△ 0.21
2019. 9	27,076	95.4	1,665,306	9.4	473	△ 22.3	77,915	△ 4.9	41,370	△ 23.7	6,706,571	△ 0.5	56,072	98.6	3,609,426	△ 18.4	1,355,979	△ 0.95	P 126,150	△ 0.21
2019.10	20,817	△ 32.0	1,334,714	2.1	714	△ 8.7	77,123	△ 7.4	63,410	△ 8.9	6,693,052	△ 4.4	58,265	33.8	3,922,227	△ 14.8	1,355,495	△ 0.95	P 126,140	△ 0.24
2019.11					563	△ 38.3	73,523	△ 12.7	51,835	△ 34.8	6,317,077	△ 10.3	45,167	△ 43.4	3,749,783	△ 9.7	1,354,959	△ 0.95	P 126,180	△ 0.22
2019.12																	1,353,800	△ 0.97	P 126,150	△ 0.22
出所	国土交通省				国土交通省				国土交通省								山口県		総務省統計局	

主要経済指標

注：前年比 = 前年同月比増減率、P = 速報値、r = 修正値

年度/月	百貨店・スーパー販売額				コンビニエンスストア販売額				家電大型専門店販売額				ドラッグストア販売額				ホームセンター販売額			
	山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国	
	(百万円) (CY)	(%) (既存店)	(億円) (CY)	(%) (既存店)	(百万円) (CY)	(%)	(億円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)	(億円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)	(億円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)	(億円) (CY)	(%)
2016 (H28)	164,503	△ 0.8	195,979	△ 0.9	118,246	-	114,456	4.1	37,486	0.5	41,830	△ 1.5	69,019	9.6	57,258	6.8	37,207	△ 1.5	33,090	0.2
2017 (H29)	162,010	△ 2.9	196,025	0.0	119,265	0.9	117,451	2.4	37,890	1.1	43,115	3.1	71,695	3.9	60,580	5.4	36,066	△ 3.1	32,942	△ 0.4
2018 (H30)	161,066	△ 1.9	196,044	△ 0.5	121,009	1.5	119,780	2.0	38,409	1.4	43,912	2.1	73,530	2.8	63,644	5.9	35,099	△ 2.7	32,853	△ 0.3
2018.10	13,560	△ 1.1	15,862	△ 0.8	10,098	1.4	9,986	0.0	2,555	△ 3.5	3,099	0.0	6,151	3.9	5,321	6.3	2,964	3.8	2,744	5.6
2018.11	13,473	△ 1.6	16,437	△ 2.1	9,853	2.2	9,716	2.0	2,998	0.7	3,371	△ 1.7	5,800	2.2	5,199	4.4	2,883	△ 3.9	2,685	△ 2.4
2018.12	17,326	△ 3.2	20,825	△ 1.0	10,834	2.9	10,566	2.8	4,380	8.1	5,044	6.5	6,978	1.5	5,839	3.9	3,345	△ 4.5	3,345	△ 0.8
2019.1	12,899	△ 5.4	16,322	△ 3.3	9,726	2.3	9,564	2.6	3,228	1.0	3,849	0.2	5,815	3.2	5,258	4.9	2,346	△ 1.6	2,363	△ 2.0
2019.2	11,452	△ 2.6	14,345	△ 1.8	9,129	4.5	9,003	3.8	2,587	△ 2.6	3,074	0.3	5,714	3.5	5,010	4.4	2,229	△ 3.2	2,139	△ 1.4
2019.3	13,320	△ 1.0	16,544	0.5	10,218	1.6	10,126	1.6	3,820	4.9	4,261	5.9	6,444	4.3	5,571	5.7	2,872	△ 2.4	2,590	△ 1.5
2019.4	12,656	△ 0.3	15,354	△ 1.8	9,991	3.3	9,977	2.6	2,814	7.0	3,354	0.6	6,138	2.6	5,478	3.3	3,169	△ 6.4	2,870	△ 3.5
2019.5	12,868	△ 0.9	15,631	△ 0.5	10,372	3.5	10,258	2.8	2,944	11.6	3,466	7.0	6,486	5.7	5,617	6.1	3,285	3.6	3,040	3.0
2019.6	12,814	△ 0.4	15,977	△ 0.5	10,051	1.0	10,116	1.4	3,528	14.7	3,738	6.9	6,472	4.6	5,654	5.5	2,894	△ 1.2	2,685	△ 0.0
2019.7	13,062	△ 6.3	16,242	△ 4.8	10,776	△ 1.6	10,760	△ 1.3	3,899	△ 14.3	4,037	△ 10.6	6,750	△ 0.0	5,773	1.8	2,877	△ 11.6	2,724	△ 7.1
2019.8	13,428	△ 1.5	r 15,889	r 0.3	11,076	0.1	10,950	1.9	3,859	22.9	4,108	17.4	r 6,641	4.3	r 5,787	r 6.5	2,914	0.4	2,866	4.7
2019.9	13,110	5.0	16,716	10.0	10,164	△ 1.0	10,203	△ 0.2	5,065	71.4	5,154	52.4	7,470	27.9	6,265	21.8	3,301	25.0	3,045	17.5
2019.10	12,076	△ 7.8	14,577	△ 8.2	10,357	2.6	10,314	3.3	2,146	△ 16.0	2,659	△ 14.2	5,743	△ 6.6	5,323	0.0	2,615	△ 11.8	2,550	△ 7.1
2019.11	P 12,811	△ 0.3	P 16,108	△ 1.8	P 9,995	1.4	P 9,938	2.3	P 2,927	△ 2.4	P 3,185	△ 5.5	P 5,878	1.3	P 5,369	3.3	P 2,735	△ 5.1	P 2,632	△ 2.0
2019.12																				
出所	経済産業省																			

※前年比は接続計数(リンク計数)処理値で算出。

年度/月	企業倒産 (負債総額1,000万円以上)								有効求人倍率				所定外労働時間指数				雇用保険受給者実人員			
	倒産件数				負債総額				(新規学卒者を除きパートタイムを含む。季節調整値)				(事業所規模5人以上。平成27年平均=100)				(一般求職者給付 基本手当)			
	山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国	
	(件)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(倍)	有効求職者数 (分母)	有効求人数 (分子)	(倍)	(CY)	(%)	(CY)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
2016 (H28)	69	43.8	8,381	△ 3.5	9,680	0.9	1,950,899	△ 4.2	1.41	20,442	28,894	1.39	98.5	△ 1.6	98.4	△ 1.7	4,104	△ 11.8	400,746	△ 8.0
2017 (H29)	60	△ 13.0	8,367	△ 0.2	8,216	△ 15.1	3,083,725	58.1	1.51	19,636	29,671	1.54	99.8	1.3	99.5	1.1	3,934	△ 4.1	378,344	△ 5.6
2018 (H30)	57	△ 5.0	8,111	△ 3.1	6,183	△ 24.7	1,619,281	△ 47.5	1.61	18,958	30,522	1.62	97.1	△ 2.7	98.1	△ 1.4	3,969	0.9	374,762	△ 0.9
2018.10	5	400.0	730	△ 0.4	1,034	1,466.7	117,619	22.7	1.63	18,925	30,755	1.62	98.2	△ 5.1	100.0	0.0	4,307	2.4	404,533	0.8
2018.11	5	△ 28.6	718	6.1	1,896	186.8	121,279	△ 16.7	1.63	18,958	30,900	1.63	103.5	△ 1.7	100.9	△ 2.6	3,949	△ 1.5	379,843	△ 1.0
2018.12	5	25.0	622	△ 10.6	614	207.0	81,792	△ 79.4	1.66	18,969	31,426	1.63	100.9	△ 2.5	99.1	△ 4.3	3,700	△ 0.5	357,329	△ 0.7
2019.1	2	△ 50.0	666	4.9	420	40.0	168,374	61.0	1.65	18,749	30,950	1.63	93.8	△ 4.5	92.7	△ 1.9	3,737	2.0	361,170	1.4
2019.2	2	△ 71.4	589	△ 4.5	61	△ 94.3	195,534	117.3	1.66	18,683	30,921	1.63	93.8	△ 4.5	97.3	△ 0.9	3,552	1.3	345,754	1.8
2019.3	3	△ 50.0	662	△ 16.1	145	△ 48.4	97,114	△ 26.8	1.61	18,613	29,931	1.63	97.3	△ 6.8	99.1	△ 3.5	3,555	1.1	339,181	0.8
2019.4	6	200.0	645	△ 0.8	320	146.2	106,916	12.0	1.62	18,558	30,127	1.63	95.6	△ 5.3	100.9	△ 1.8	3,600	4.9	347,674	6.6
2019.5	10	11.1	695	△ 9.4	7,958	1,768.1	107,465	2.9	1.60	19,007	30,481	1.62	92.0	△ 1.9	94.5	△ 2.9	4,021	△ 3.9	387,675	△ 0.3
2019.6	7	40.0	734	6.4	257	△ 55.2	86,957	△ 60.4	1.61	19,094	30,731	1.61	91.2	△ 2.8	95.5	△ 2.7	4,103	1.4	386,551	2.1
2019.7	5	25.0	802	14.2	160	△ 53.1	93,400	△ 17.1	1.62	19,127	30,947	1.59	91.2	△ 1.8	95.5	△ 0.9	4,416	0.6	417,954	4.8
2019.8	3	△ 62.5	678	△ 2.3	69	△ 83.5	87,149	△ 28.1	1.59	19,243	30,564	1.59	85.0	△ 2.0	90.0	△ 2.0	4,356	△ 4.2	416,434	△ 1.0
2019.9	4	△ 42.9	702	13.0	944	667.5	112,985	△ 38.7	1.62	19,106	31,033	1.57	94.7	1.0	95.5	0.0	4,373	3.5	409,469	3.3
2019.10	7	40.0	780	6.8	1,813	75.3	88,578	△ 24.7	1.62	18,883	30,519	1.57	94.7	△ 3.6	98.2	△ 1.8	4,310	0.1	405,337	0.2
2019.11	8	60.0	728	1.4	395	△ 79.2	124,116	2.3	1.60	19,016	30,416	1.57					3,886	△ 1.6	385,714	1.5
2019.12																				
出所	株式会社東京商工リサーチ								厚生労働省・山口労働局				山口県		厚生労働省		厚生労働省・山口労働局			

【特別調査】 「2020年の経営見通し」（山口県内中小企業114社に対するアンケート調査結果）

山口県内中小企業者の、2020年の景気見通しについては、消費税の増税や不安定な海外情勢を反映して、日本の景気、自社の業況とも「悪い」との回答が「良い」との回答を大幅に上回っており、1年前の調査と比べ、「悪い」と回答する企業の割合が増加している。

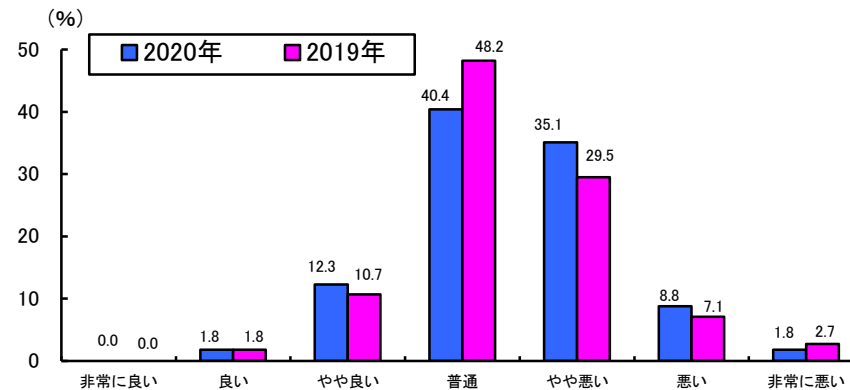
自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている」との回答が減少し、「6か月以内」～「2年後」と回答する割合が増加している。

消費税増税の影響については、約3割が「見通しよりも悪い影響」を受けたと回答している。

1. 2020年の日本の景気見通し

2020年の日本の景気見通しについては、「普通」（横這い）と回答する割合が40.4%ある中で、「悪い」（やや悪い・悪い・非常に悪い）と回答する割合が45.7%と、「良い」（非常に良い・良い・やや良い）と回答する割合の14.1%を大幅に上回っている。

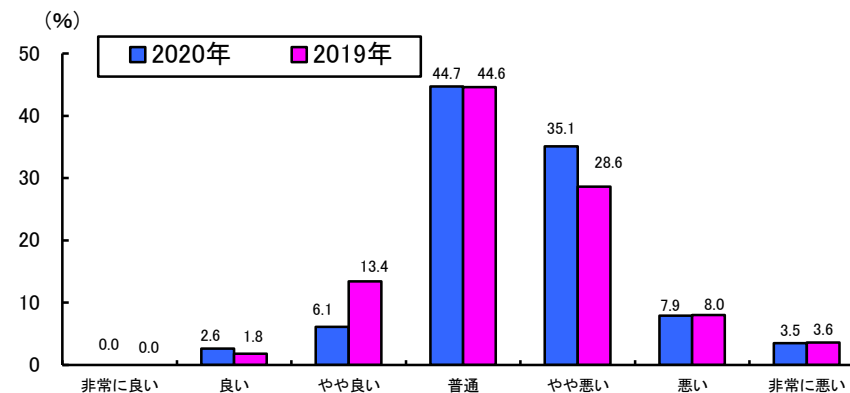
1年前の調査と比べると、「悪い」と回答する割合の増加（+6.4ポイント）が、「良い」と回答する割合の増加（+1.6ポイント）を上回り、両者の差（「良い」-「悪い」：△26.8ポイント → △31.6ポイント）は拡大している。



2. 2020年の自社の業況見通し

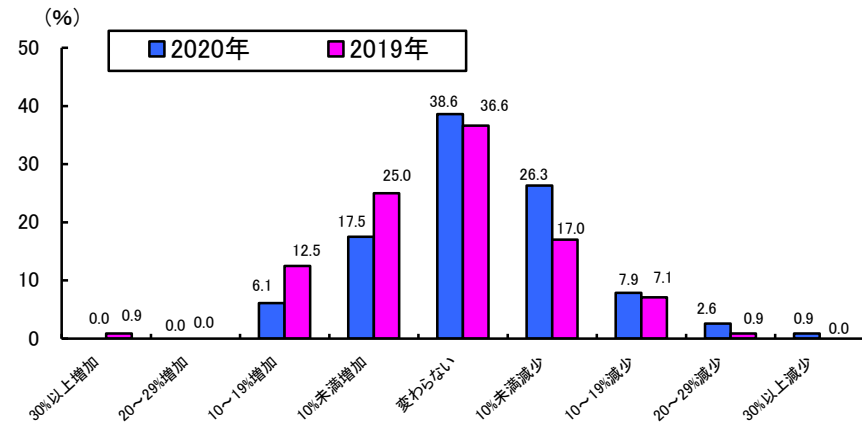
2020年の自社の業況見通しについても、「普通」（横這い）と回答する割合が44.7%ある中で、「悪い」と回答する割合が46.5%と、「良い」と回答する割合の8.7%を大幅に上回っている。

1年前の調査と比べると、「悪い」と回答する割合が増加（+6.3ポイント）し、「良い」と回答する割合が減少（△6.5ポイント）したことから、両者の差（「良い」-「悪い」：△25.0ポイント → △37.8ポイント）は拡大している。



### 3. 2020年の自社の売上額の伸び率の見通し

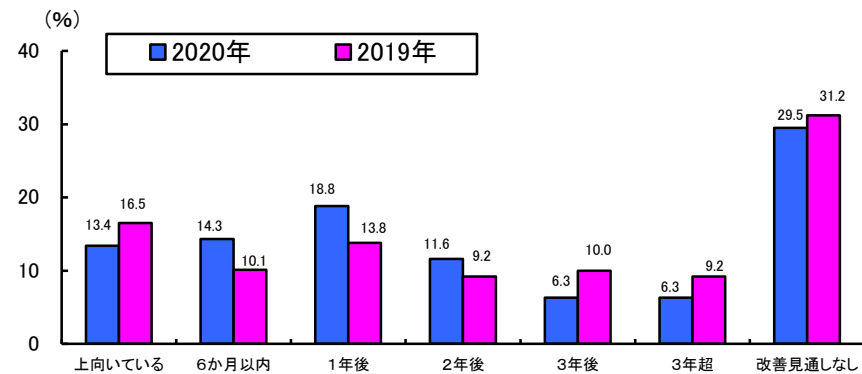
2020年の自社の売上額の伸び率の見通しについては、「変わらない」と回答する割合が38.6%ある中で、「減少」と回答する割合（37.7%）が「増加」と回答する割合（23.6%）を上回っている。



### 4. 自社の業況が上向く転換点

自社の業況が上向く転換点について1年前の調査と比べると、「すでに上向いている」と回答する割合が減少しており、今後上向くとの回答の中では、「6か月以内」～「2年後」と回答する割合が増加している。

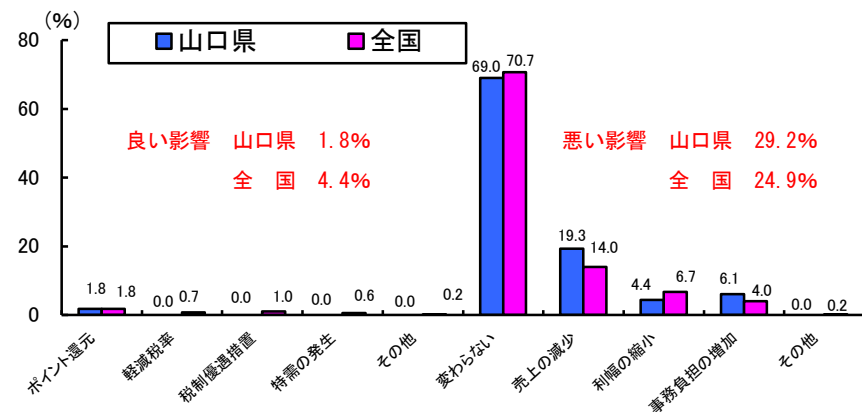
「業況改善の見通しが立たない」と回答する割合は、僅かながらではあるが減少している。



### 5. 消費税引上げの影響

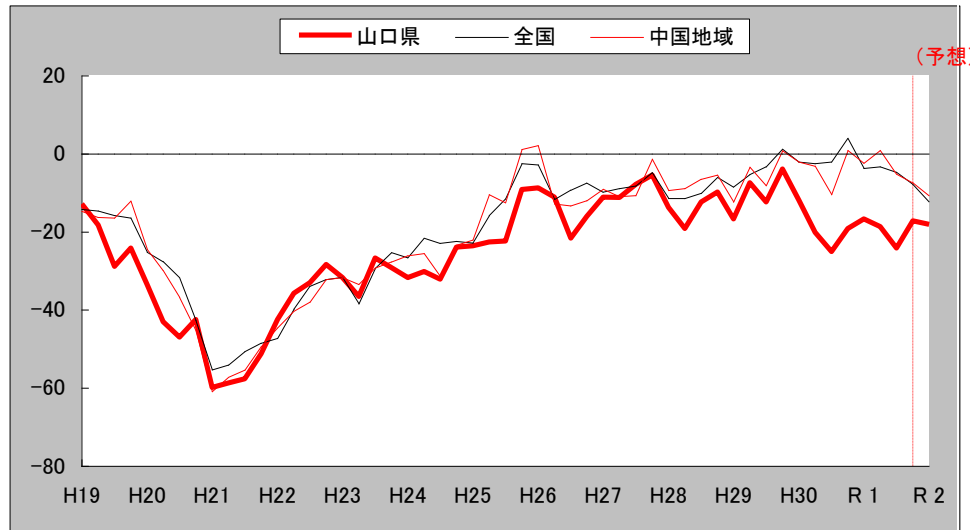
消費税引上げ前の見通しと比べた、経営に与えた影響については、「見通しと変わらない」が69.0%と最も多い。

「見通しよりも良い影響」は1.8%とほとんどなく、「見通しよりも悪い影響」は29.2%で、理由としては、「売上の減少」(19.3%)が最も多く、次いで「事務負担の増加」(6.1%)、「利幅の縮小」(4.4%)となっている。

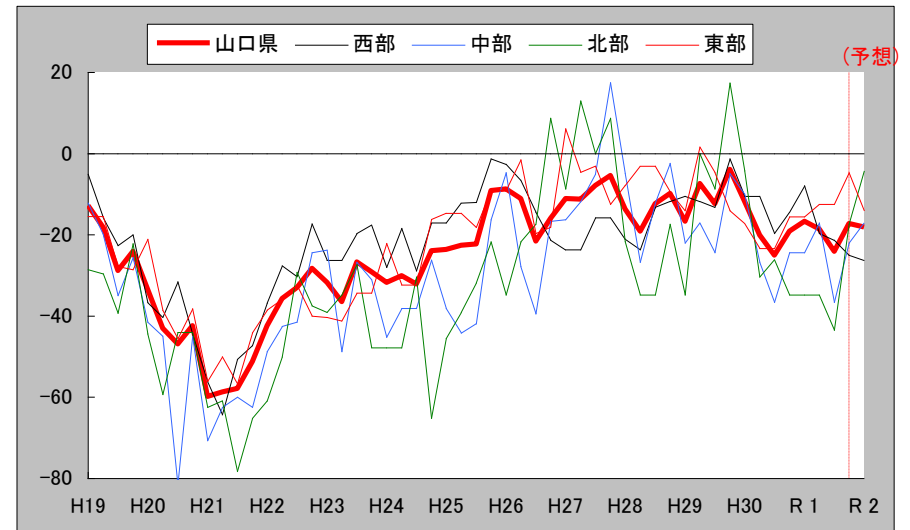


〈参考資料〉 業況判断D.I.の推移(H19以降)

全産業



地域別



山口県				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

全国			
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月

中国地域			
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月

H19	-12.8	-18.2	-28.8	-24.1	-14.2	-14.6	-15.8	-16.4	-14.7	-16.3	-16.4	-12.1
H20	-33.5	-43.0	-46.9	-42.4	-25.2	-27.6	-31.7	-42.7	-24.5	-29.9	-36.8	-45.3
H21	-59.8	-58.7	-57.6	-51.2	-55.3	-54.1	-50.6	-48.5	-60.9	-57.2	-55.4	-49.4
H22	-42.4	-35.7	-33.0	-28.3	-47.3	-39.7	-33.9	-32.2	-44.6	-40.3	-3.8	-32.2
H23	-31.7	-36.5	-26.7	-29.1	-31.6	-38.4	-29.3	-25.3	-31.7	-33.4	-29.2	-27.7
H24	-31.7	-30.1	-32.1	-23.9	-26.6	-21.6	-22.9	-22.4	-26.1	-25.5	-31.3	-23.4
H25	-23.6	-22.6	-22.3	-9.1	-22.8	-15.8	-11.5	-2.5	-22.1	-10.4	-12.5	1.1
H26	-8.7	-11.1	-21.6	-16.0	-2.8	-11.7	-9.3	-7.5	2.1	-12.8	-13.3	-12.0
H27	-11.1	-11.2	-7.8	-5.4	-9.8	-8.9	-8.2	-4.8	-9.0	-10.9	-10.7	-1.3
H28	-13.7	-19.1	-12.3	-9.8	-11.4	-11.4	-10.1	-6.0	-9.4	-8.9	-6.5	-5.4
H29	-16.7	-7.4	-12.3	-3.9	-8.5	-5.3	-3.3	1.2	-12.3	-3.4	-8.1	0.8
H30	-11.8	-20.1	-25.0	-19.1	-2.1	-2.5	-2.1	4.0	-2.1	-3.1	-10.4	0.9
R 1	-16.7	-18.6	-24.1	-17.2	-3.7	-3.3	-4.7	-7.8	-2.4	0.9	-5.2	-7.4
R 2	-18.1				-12.3				-10.8			
	(予想)				(予想)				(予想)			

業種別

